第３８回中国・四国アルコール関連問題学会

高知大会開催にあたって

謹啓、時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。平素は中国・四国アルコール関連問題学会の運営につきましてご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

この度、第３８回中国・四国アルコール関連問題学会高知大会を令和４年10月9日（日）、オンラインにて、開催することになりました。

新型コロナウイルス感染症は依然として収束することなく制限された生活が続いております。過去の中国・四国アルコール関連問題学会のようなに２日間にわたる発表や懇親会などで親睦を深めることはできませんが、遠方からでもオンラインで学会に参加できるという点では、ある意味便利な情報社会になったとも感じられます。今回の学会は『ウイズコロナ時代におけるアルコール医療を考える』をテーマに開催したいと思います。

午前の部では、一般演題を各セクションに分け発表していただき、午後の部では特別講演（１）『アルコール依存症のがん 生涯にわたる問題』久里浜医療センター臨床研究部長 横山顕先生、特別講演（２）『アルコール性肝障害と減酒治療の可能性』奈良県立医科大学消化器内科教授 吉治仁志先生にご講演いただきます。

さらにそのあと『コロナ禍におけるアルコール医療―治療ギャップを埋めるための精神科・内科の連携―』というテーマでシンポジウムを開催し討論したいと思います。昨年と内容は多少重複しますが、今回は全く本学会に参加経験のない糖尿病専門医の先生、消化器内科専門医の先生にご参加していただき精神科の先生方と討論していきたいと思います。高知県は他県に比べアルコール医療の面では精神科・内科の連携が積極的にできていないように感じております。今回の学会を機に内科の先生方にもアルコール医療に興味を持っていただき参加していただける学会していけたらと思っております。

本学会が中国四国はもとより、全国からアルコール医療に関わっておられる皆様が一同に集まり、学術研修及び親睦を深める大会になりますようにと願っております。なにぶんにもオンラインでの開催は当院としては初めてであり不慣れな点も多く、ご不便をおかけする点も多々あろうかと思いますが、何卒ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、皆様の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。　　　　謹白

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　第３８回中国・四国アルコール関連問題学会高知大会

大会長　　山本道也

医療法人共生会　下司病院